



2月号

令和3年 1月 29日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

5の3折紙研究所

～学校のキャラクター、ひなぼんの折り方を教えます～

5年3組

今月号は、校長先生に代わって、私たち5年3組が総合的な学習の時間で行っている活動について紹介します。

5年3組は、総合的な学習の時間に、東中田小学校のキャラクターである「ひなぼん」を折り紙でつくろうというテーマで学習を進めてきました。学校の全校児童や保護者の方、地域の方々にも作ってもらいたいと思い、ひなぼんの折り方を「学校だより」で紹介したいと思います。

なぜ、ひなぼんの折り方を紹介するまでに至ったのかというと、今年度4・5月の休校中までさかのぼります。第1回目の緊急事態宣言が発出され、外出自粛で家で過ごすことが長くなりました。自宅で過ごすことが多かった私たち。学校からの課題が終わってしまい、やることもなく、退屈な日々を送っていました。そんな時、おうちの人と楽しめる遊びはないのかと感じていました。休校が明けて、みんなと会えた時、何人かがおうちで作った鬼滅の刃のキャラクター折り紙を持ってきました。教室に飾った時は、教室の雰囲気が明るくなった感じがしたのを覚えています。そこからクラスで鬼滅の刃のキャラクター折り紙が流行り、合計40体まで増えました。今でも教室に飾ってあります。その時、ふと「折り紙はおうちでもできる活動だ。」という気持ちになりました。そこで、自宅で家族と一緒に遊べる折り紙を考える活動が始まりました。

まず、国語の授業で、折り紙のことについて調べることにしました。折り紙の歴史や由来などを、調べ、みんなでまとめました。折り紙は貴族の間で、包み紙として使われていました。それから、折り目がつくことに気づき、「少しでもきれいに折りたい」という意思が生まれ、そこから折り紙が誕生したといわれています。日本の伝統的な文化の一つでもある折り紙。調べ学習を終えて、日本の大切な伝統を伝える活動につながっていると感じ、より緊張感が高まりました。ただ、折り紙の活動をするのではなく、5年3組のオリジナルの折り紙の活動をしたいという考えが生まれ、東中田小学校のキャラクターである、「ひなぼん」を作ることに決定しました。それに加えて、今の1年生や地域の方々には、「ひなぼん」をあまり知りません。「ひなぼん」をより知ってもらうために、「ひなぼん」の折り方を考えることに決めました。

誰でも親しめるような折り方、簡単でみんなで楽しめるようにと何度も試行錯誤を重ねました。グループごとに折り方を考え、それらを発表し合い、アドバイスをし、もう一度折り方を考える活動を繰り返しました。みんなが納得するまでこの活動を繰り返し、「小さい子でもわかりやすいひなぼんの折り方」を作ることができました。

再び緊急事態宣言も発出されました。この活動を通して、一人でも多くの人におうち時間を楽しみながら、元気に過ごしてもらえたらと思っています。

別紙に詳しい折り方を掲載しています。ぜひ作ってみてください。

東中田小学校のホームページにも掲載しています。そちらもご覧ください。

